

第1章

令和元年東日本台風災害の概要及び被害の状況

1 令和元年東日本台風の概要

【気象状況】

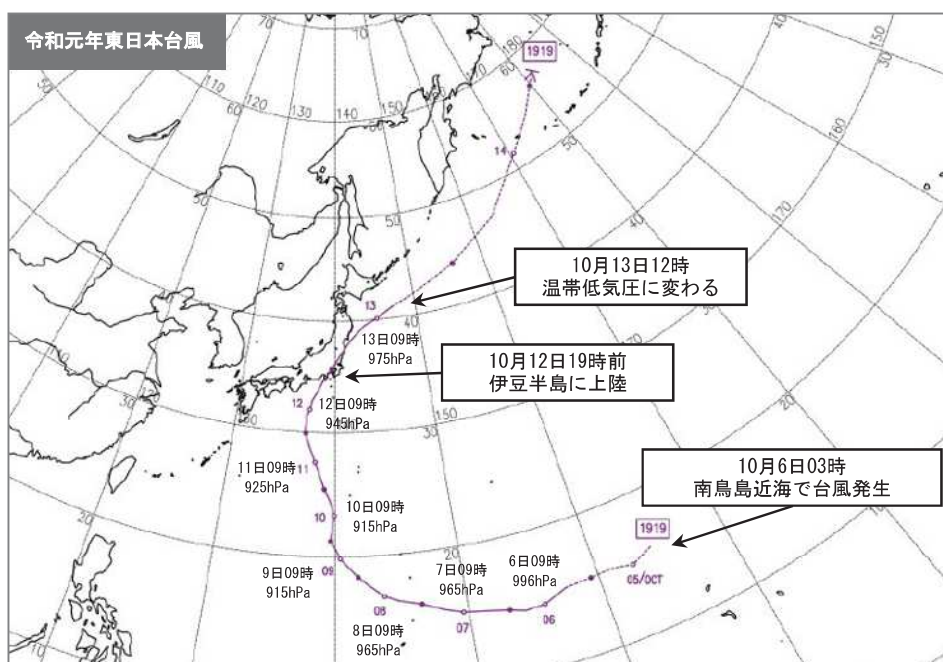
10月6日に南鳥島近海で発生した令和元年東日本台風は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸しました。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わりました。

令和元年東日本台風の接近・通過に伴い、広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となりました。

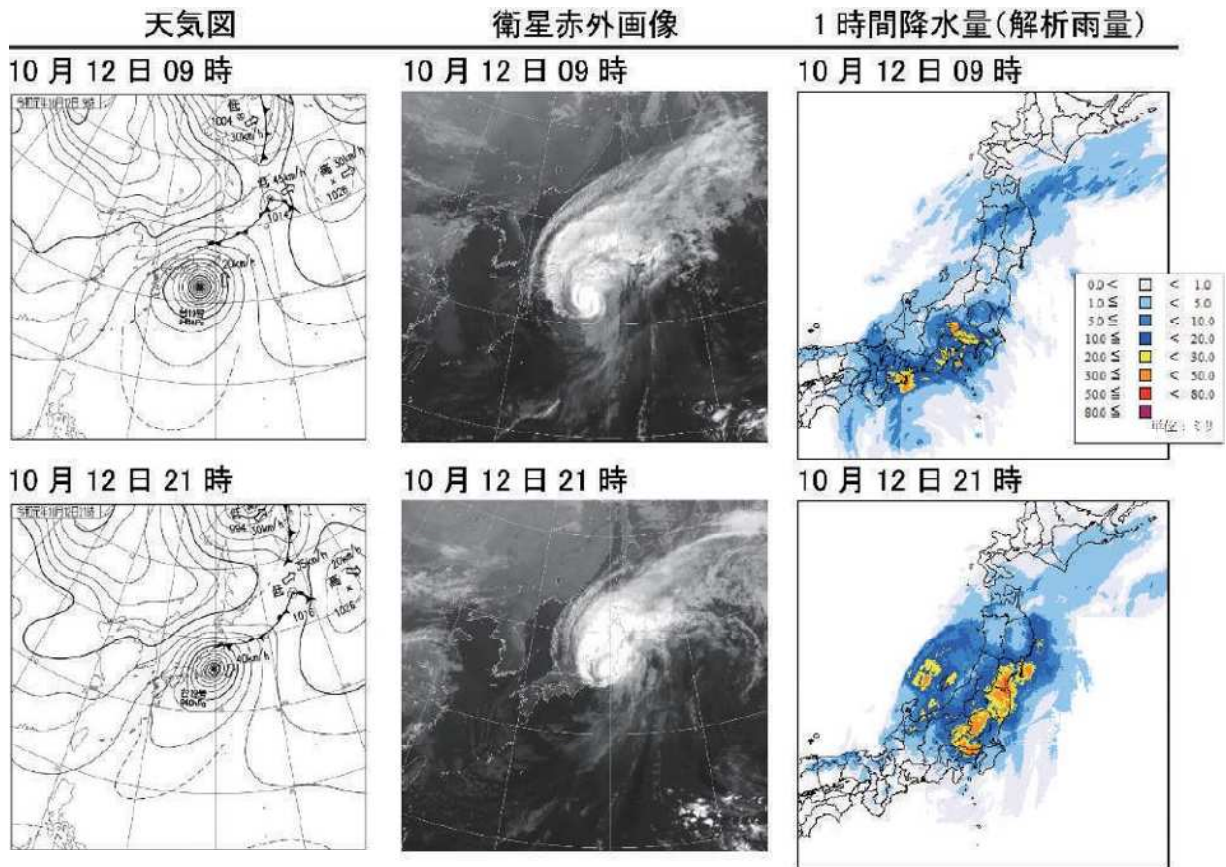
10月10日から13日までの総降水量は、神奈川県箱根で1,000ミリに達し、東日本を中心に17地点で500ミリを超えました。特に、静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で3、6、12、24時間降水量が観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となり、長野県を含む1都12県に大雨特別警報が発表されました。

この大雨の影響で、広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水害が発生しました。これら大雨による災害及び暴風等により、人的被害や住家被害、電気・水道・道路・鉄道施設等のインフラ・ライフラインへの被害が発生しました。

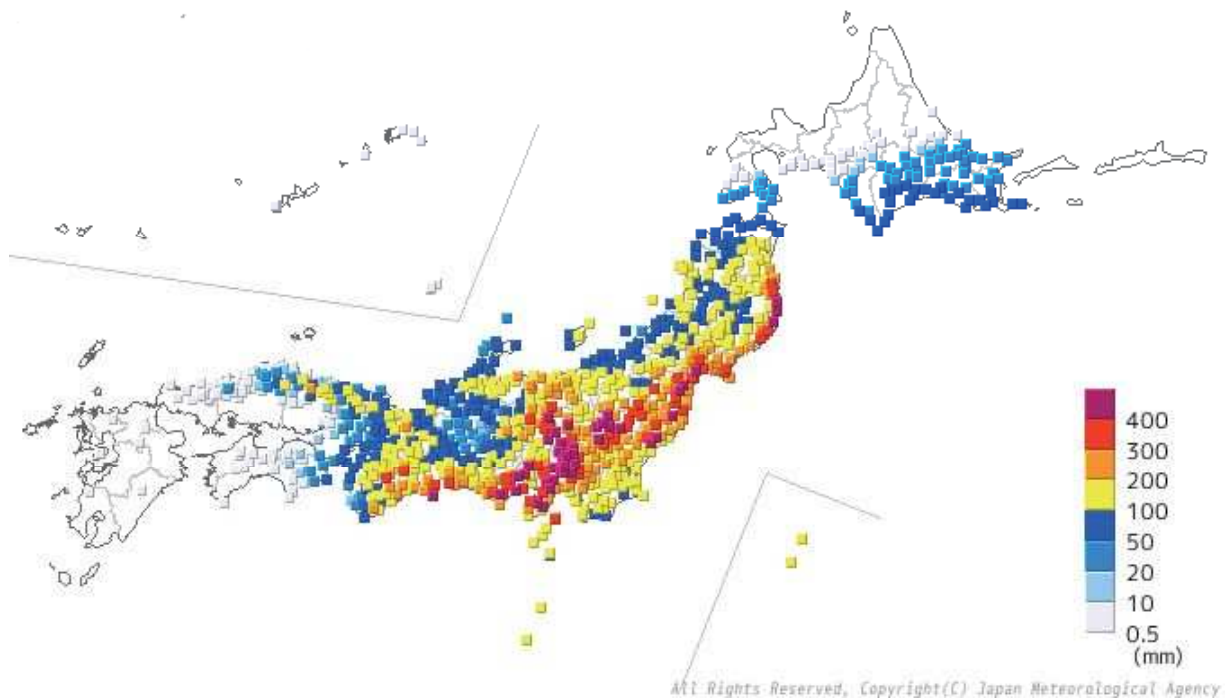
令和元年東日本台風経路図〈出典：気象庁〉



天気図・衛星画像・雨量分布 (出典：気象庁)



令和元年東日本台風による降水量の期間合計値 (令和元年10月10日～13日) (出典：気象庁)



長野県内の期間降水量（令和元年10月12日00時～10月13日24時）

〈出典：気象庁、長野県〉

観測所名	10月12日			10月13日			期間合計 10月12日～ 10月13日
	日合計	日最大 1時間降水量※		日合計	日最大 1時間降水量※		
	mm	mm	時分	mm	mm	時分	mm
長野（国）	132.0	15.0	1649	4.0	3.5	0104	136.0
豊野（県）	101.0	11.0	1400	3.0	2.0	0200	104.0
信里（県）	121.0	15.0	1400	1.0	1.0	0100	122.0
松代（県）	187.0	21.0	1600	0.0	0.0	—	187.0
若穂保科（県）	260.0	33.0	1500	1.0	1.0	0100	261.0
鬼無里（国）	113.5	14.0	1809	40.0	9.0	0128	153.5
信州新町（国）	163.5	21.0	1654	0.5	0.5	0137	164.0
菅平（国）	270.0	31.5	1414	11.0	8.0	0001	281.0
上田（国）	143.0	15.5	1415	0.5	0.5	0201	143.5
東御（国）	148.5	22.0	1338	4.5	3.0	0101	153.0
佐久（国）	303.5	35.0	1506	0.0	0.0	2400	303.5

※1時間降水量は、時分前1時間の積算雨量

統計開始以来の極値更新

要素	地点名	値	起日	これまでの観測史上1位	
				年月日	年月日
日降水量（mm）	長野	132.0	12日	124.5	2004/10/20
月最大24時間降水量（mm）	長野	134.0	12日	125.5	2004/10/20

特別警報・警報・注意報発表状況

〈出典：長野地方気象台発表〉

（凡例）土：土砂災害、浸：浸水害、土浸：土砂災害、浸水害

	強風 注意報	雷 注意報	大雨 注意報	洪水 注意報	暴風 警報	大雨 警報	洪水 警報	大雨特 別警報
11日 20:05	●							
12日 04:28	↓	●						
12日 07:40			●	●	●			
12日 10:56			↓			土	●	
12日 14:39						土浸		
12日 15:30								浸
12日 20:45					↓			土浸
13日 00:57	●	↓						土
13日 03:20	↓					土		
13日 04:27						↓		
13日 16:46			↓				↓	

【大雨の要因】

台風経路の左側にあたる東日本から東北地方を中心に記録的な大雨となった特徴的な降水量分布は、温帯低気圧に構造が変化する過程でみられる、大陸の高気圧の本州付近への張り出しに伴う比較的低温の空気と北上する台風周辺の暖かく湿った空気との間で前線が形成、強化されたことが原因です。

千曲川流域では、主に前線の影響により大雨となったと考えられます。

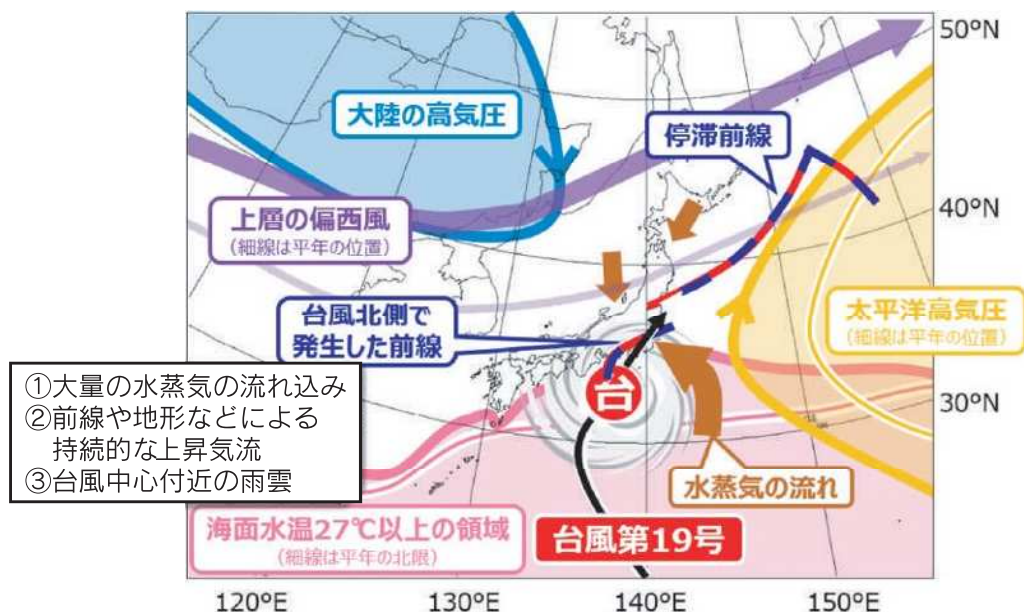
なお、今後は、地球温暖化に伴う気候変動による大雨や台風の発生の変化についても、課題として認識しておく必要があります。

国土交通省によると、日本における大雨の発生数が長期的に増加傾向にあるのは、地球温暖化が影響している可能性があり、地球温暖化が今後進行した場合、更に大雨の発生数は増加すると予測されています。

さらに、21世紀末頃を想定した気象庁の地域気候モデルによる地球温暖化予測実験では、「日降水量100mm以上などの大雨の発生数が日本の多くの地域で増加する」とともに、「6月から9月に現在よりも降水量が増加する」という予測結果が出ていることから、集中豪雨や台風が多発する夏季の防災が大きな課題となってくると考えられます。

また、台風の関係では、気象庁気象研究所や財団法人地球科学技術総合推進機構を中心とする研究グループによる21世紀末頃を想定した温暖化予測実験によると、全球的な熱帯低気圧の発生数は、再現実験における発生数よりも30%程度減少する一方、海上（地上）の最大風速が45m/sを超えるような非常に強い熱帯低気圧の出現数は、地球温暖化に伴い増加傾向にあるとされており、災害が全体として激化することが想定されます。

令和元年東日本台風による記録的な大雨の気象要因のイメージ図（出典：気象庁）



【千曲川流域の降水量】

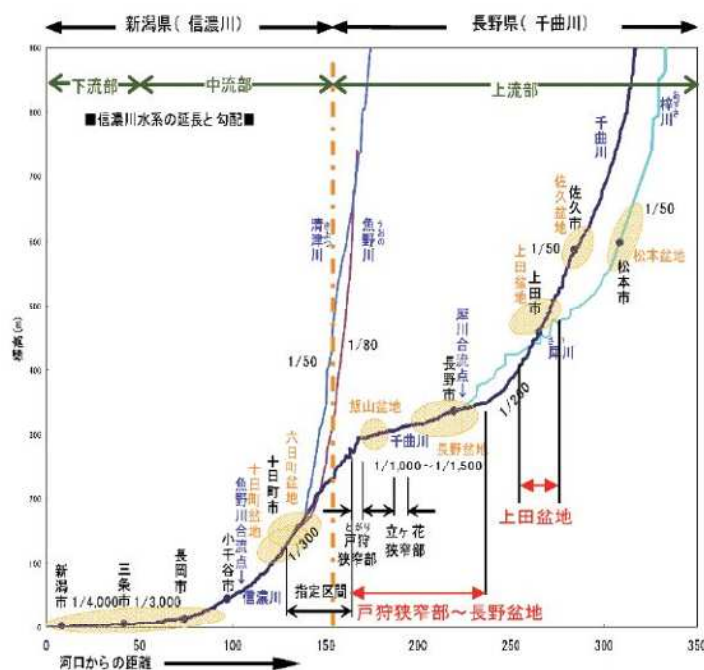
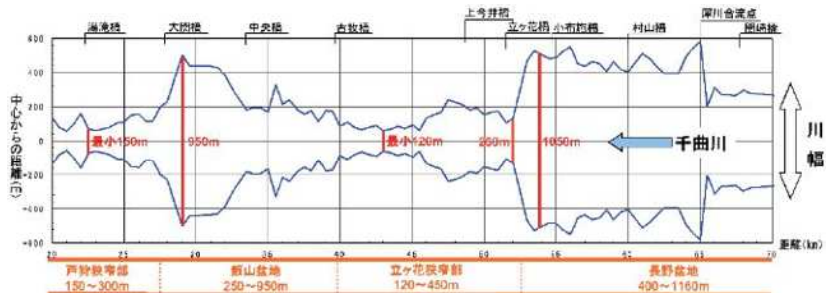
大規模な氾濫となった千曲川では、上流に位置する佐久市（アメダス佐久）で10月12日00時から連続的に雨が降り始め、12日13時から20時にかけては20mm/hを超える強い雨が8時間にわたり降り続けました。

佐久の12日の日降水量は、これまでの記録（平成11年8月14日の205mm）を大きく上回る303mmを記録しました。佐久市の南に位置する北相木でも395mmという観測史上1位の記録的な降雨となりました。

このため、佐久市下越での水位が上昇し、12日21時には最高水位4.77mに到達。下越より約100km下流にある中野市立ヶ花では、13日04時に氾濫危険水位の9.60mを大きく上回る、最高水位12.44mに到達しました。

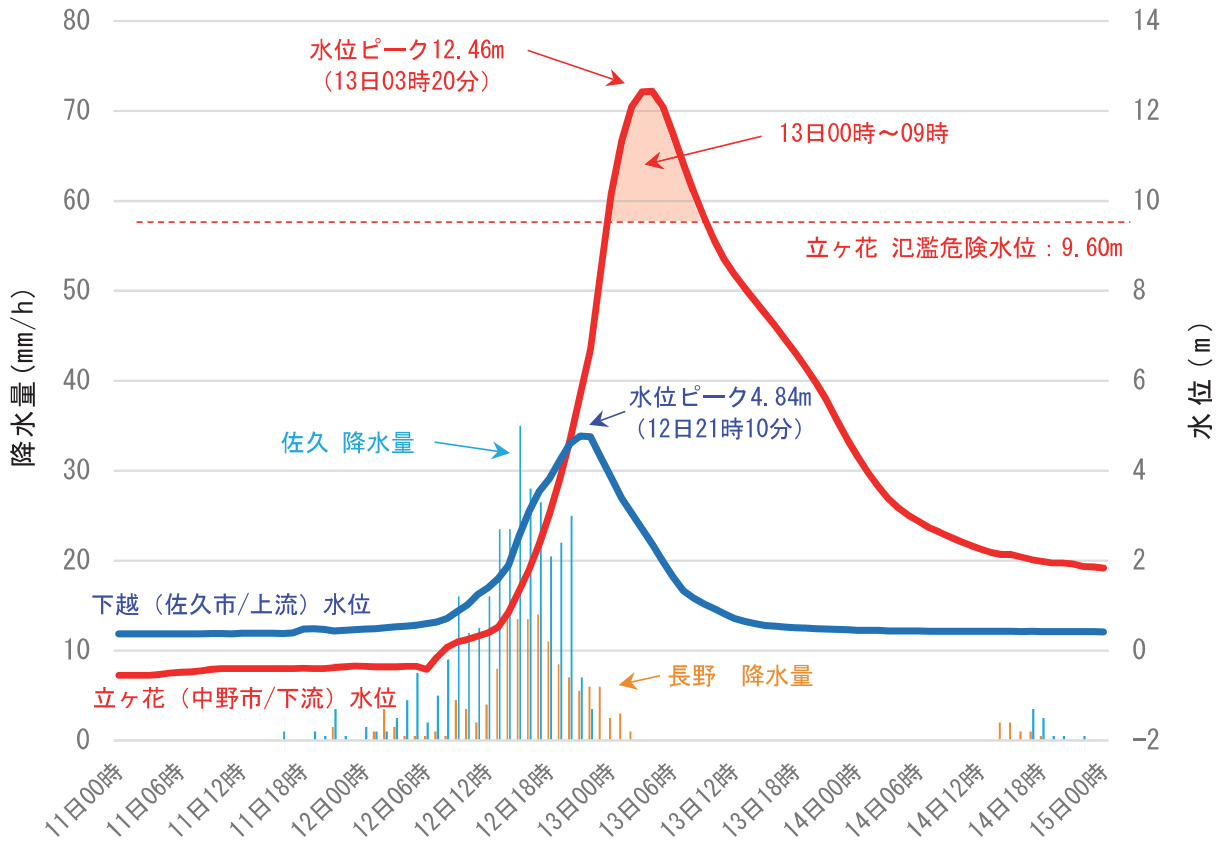
また、最高水位を観測した時間は、下越で12日21時、立ヶ花で13日04時となり、上流と下流の約7時間の時間差は、千曲川の流域面積が7,163km²と非常に広く、上流部でより多くの雨が降ったことに起因すると推察されます。

千曲川の川幅と縦断勾配（出典：国土交通省北陸地方整備局）



千曲川の水位とその付近の降水量

〈出典：水位／国土交通省・長野県観測所、降水量／気象庁アメダス〉



千曲川・犀川流域の降水量（累計雨量：令和元年10月12日01：00～14日24：00）

〈出典：気象庁アメダス〉

■千曲川流域

野沢温泉 野沢温泉村 大字豊郷	飯山 飯山市大字飯山	信濃町 信濃町柏原	笠岳 高山村奥山田	長野 長野市箱清水	聖高原 麻績村猿ヶ馬場 三峰山	菅平 上田市菅平高原
208mm	136mm	190mm	335mm	142mm	250mm	296mm
上田 上田市古里	鹿教湯 上田市 鹿教湯温泉	立科 立科町戸田	軽井沢 軽井沢町 大字長倉	佐久 佐久市中込	北相木 北相木村 字板置場	野辺山 南牧村野辺山
154mm	333mm	271mm	324mm	311mm	395mm	172mm

■犀川流域

鬼無里 長野市鬼無里	信州新町 長野市信州新町 牧田中	大町 大町市大町	穂高 安曇野市穂高	松本 松本市沢村	松本今井 松本市 大字空港東	奈川 松本市奈川	上高地 松本市 安曇上高地
157mm	157mm	98mm	102mm	149mm	130mm	150mm	95mm

【千曲川・犀川の水位】

千曲川本川の生田（上田市）、杭瀬下（千曲市）、立ヶ花（中野市）の3水位観測所で計画高水位を超過するとともに、観測史上第1位の水位を観測しました。

水位観測所位置図（出典：国土交通省北陸地方整備局）



今回の出水の最高水位と水防基準水位

（出典：国土交通省北陸地方整備局）

	生田 上田市生田	杭瀬下 千曲市杭瀬下	立ヶ花 中野市立ヶ花	稲核ダム 松本市安曇島々	熊倉 安曇野市豊科熊倉	陸郷 安曇野市明科南陸郷	小市 長野市川中島
最高水位 毎正時 (10分)	5.80m (5.87m)	6.39m (6.40m)	12.44m (12.46m)	111m ³ /s (111m ³ /s)	3.99m (4.07m)	4.09m (4.19m)	0.03m (0.03m)
計画高 水位	5.75m	5.42m	10.75m	1,800m ³ /s	7.15m	7.47m	5.03m
氾濫危険 水位	5.00m	5.00m	9.60m	780m ³ /s	6.00m	4.80m	1.80m
避難判断 水位	4.50m	4.60m	9.10m	690m ³ /s	5.80m	4.50m	1.50m
氾濫注意 水位	1.90m	1.60m	5.00m	300m ³ /s	4.00m	3.30m	0.00m
水防団 待機水位	0.80m	0.70m	3.00m	220m ³ /s	3.50m	2.50m	-0.50m

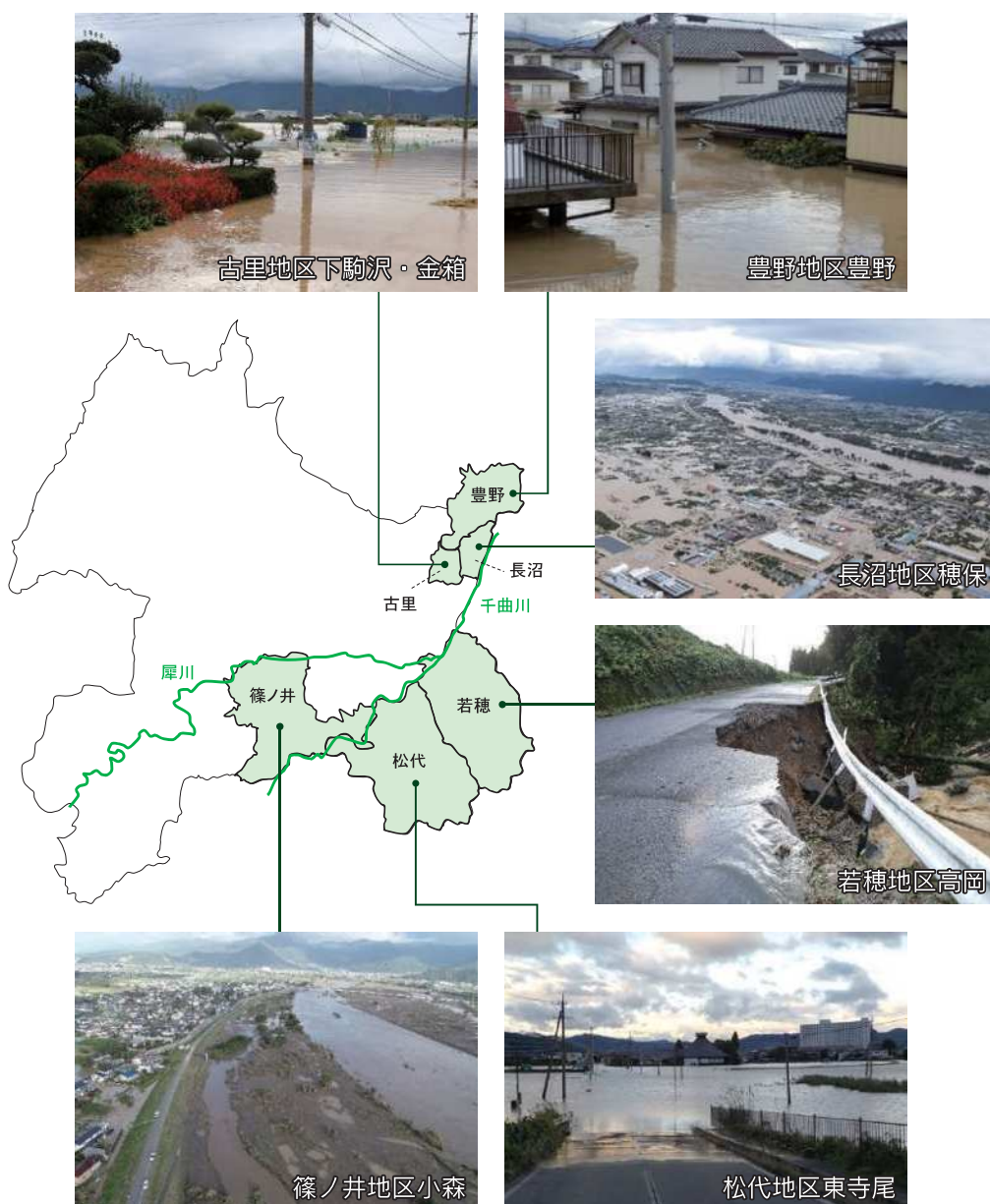
2 被害の状況

【被害の概要】

長野市北部の長沼、豊野、古里地区、南部の篠ノ井、松代、若穂地区を中心に、千曲川堤防の決壊や越水、その他一級河川、普通河川、排水路、用水等の内水氾濫等による浸水被害が発生するとともに、護岸の崩落や道路の損壊、立木倒木による停電、土砂崩落などが発生しました。

これにより、住民の生命及び住家をはじめ、各種都市基盤（インフラ）、商工業、農業等が甚大な被害を受けました。

長野市位置図及び主な被害地区概況写真



【人的被害】

(令和2年1月27日時点)

死者	2人
重傷者	2人
軽傷者	92人

【住家被害】 ※り災証明書交付件数

(令和2年2月29日時点)

	長沼	豊野	古里	篠ノ井	松代	若穂	総計	
全壊	560	474	0	0	0	0	1,034	
大規模半壊	78	172	35	33	35	1	354	
半壊	172	133	55	639	297	8	1,305	
一部損壊	63	138	91	633	221	19	1,185	
計	873	917	181	1,305	553	28	3,878	
参考	床上浸水	820	857	94	688	334	7	2,801
	床下浸水	53	59	87	615	214	17	1,047
	浸水以外	0	1	0	2	5	4	30

※上記6地区以外に、三輪地区、柳原地区、芋井地区等に半壊1、一部損壊20（床上浸水1、床下浸水2、浸水以外18）あり

【浸水面積】

地 区	浸水面積
長沼・豊野・古里	934ha
篠ノ井	371ha
松代	156ha
若穂	80ha
計	1,541ha

【令和元年東日本台風に関する被害額】

(令和2年3月19日時点)

被害総額	110,890百万円
------	------------

被害の別	発生数	単位	被害額 (百万円)	摘要 【() のうち単位のないものは被害額：単位百万円】	
計	—	—	20,248		
農業関係	農作物・樹体被害	448	ha ※1	974	
	生産施設等	547	箇所 ※2	6,415	
	農地・農業用施設	1,430	箇所 ※2	12,859	排水機場(7箇所)(4,965)、その他農業施設(281箇所)及び農地申請数(1,142箇所)(7,894)
	農業集落排水施設	0	箇所	0	
林業関係	計	21	箇所	342	
	治山	4	箇所 ※2	190	(県事業)
	林道	17	箇所 ※2	152	高岡山新田線、笹平線、妙徳線 ほか
公共土木施設	計	406	箇所	1,434	
	河川	58	箇所 ※2	638	高岡川、唐沢川、銅山川 ほか
	砂防	0	箇所	0	
	道路	348	箇所 ※2	796	長沼87号線、豊野229号線、聖川堤防線、若穂東455号線 ほか
都市施設	計	39	—	2,845	
	下水道	13	箇所 ※2	2,681	雨水ポンプ場(1,617)、マンホールポンプ場(28)、松代真空ステーション(31)、東部浄化センター(1,003) ほか
	公園	26	箇所 ※2	164	長沼公園、赤沼公園 ほか
商工業関係	476	件 ※1	71,240	商業分野311件(36,324) 工業分野165件(34,916)	
学校施設	7	校 ※2	1,042	長沼小学校(322)、豊野中学校(537)、東北中学校(109)、松代中学校(73) ほか	
学校以外の公共施設等	計	28		1,350	
		2	施設 ※3	222	長沼支所(22)、豊野支所(200)
		2	施設 ※2	22	豊野人権同和教育集会所(15)、浅野人権同和教育集会所(7)
		18	施設 ※2	844	千曲川リバーフロントスポーツガーデン(320)、豊野体育館(96) ほか
		1	施設 ※2	49	豊野保健センター
	5	施設 ※2	213	長沼交流センター(151)、豊野公民館(31) ほか	

被害の別	発生数	単位	被害額 (百万円)	摘要 【() のうち単位のないものは被害額：単位百万円】
計	12		1,137	
社会福祉施設	5	施設	※2 689	松代花の丸児童センター (15)、長沼児童センター (120)、長沼・豊野みなみ・西部保育園
	7	施設	※2 448	八雲日和さくら (障害者就労継続支援施設)、豊野老人福祉センター ほか
医療施設	14	施設	※4 1,716	医療機関6施設、薬局8施設
上水道	1	事業体	※2 311	西沖浄水場 (230)、笹平-山内導水管 (55) ほか
市営住宅	310	戸	※2 955	美濃和田団地、沖団地、昭和団地
合計			102,620	

住宅被害	751,800	m ²	※5 8,270	
------	---------	----------------	----------	--

※1 事業者等からの聞き取りにより確認

※2 災害復旧事業に係る算出額 (災害査定額、予算額、見積額、契約額、支出見込額、支出済額など)

※3 建物台帳の再調達額から算定

※4 医療機関等への聞き取り、県補助金申請書により確認

※5 「公共土木施設災害復旧事業査定方針 (最終改正平成23年8月5日) 建設省河川局長通知」での単位面積当たり被害額11,000円/m²により算定

3 主な応急・復旧、被災者支援の取組状況

【長野市からの災害や避難に関する情報発表等】

日 時	情報発表等の内容
10月11日 8:46	令和元年東日本台風接近に伴う注意の呼びかけ
15:26	令和元年東日本台風接近に伴う注意の呼びかけ
10月12日 16:00	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 土砂災害の危険性が高まることが予想される [篠ノ井共和地区、安茂里地区、小田切地区の一部、大岡地区の土砂災害警戒区域内]
16:20	●長野市災害対策本部設置
16:20	警戒レベル4 避難勧告 土砂災害の危険性が高まっている [大岡地区の土砂災害警戒区域]
18:00	警戒レベル4 避難勧告 千曲川の氾濫の危険性が高まっている [篠ノ井～豊野地区の千曲川沿川]
19:15	警戒レベル4 避難勧告 土砂災害の危険性が高まっている [安茂里地区、篠ノ井共和地区、小田切地区一部の土砂災害警戒区域内]
19:30	警戒レベル4 避難指示（緊急） 土砂災害発生の恐れがある [大岡地区の土砂災害警戒区域]
20:05	警戒レベル4 避難指示（緊急） 千曲川氾濫の危険がある [篠ノ井横田地区]
20:25	警戒レベル4 避難指示（緊急） 保科川で土石流の可能性が高い [若穂川田地区、若穂保科地区]
20:42	警戒レベル5 災害発生情報 20時23分ころ篠ノ井横田で千曲川が越水
21:26	警戒レベル5 災害発生情報 聖川聖徳橋付近で水が溢れだした [篠ノ井塩崎地区]
21:30	●自衛隊災害派遣要請（市長→県知事）
22:27	警戒レベル5 災害発生情報 21時27分ころ篠ノ井塩崎庄ノ宮で千曲川が越水
22:36	警戒レベル4 避難指示（緊急） 浸水の危険性が高まっている [松代町大室、松代町牧島の一部]

日 時	情報発表等の内容
10月12日 23:03	警戒レベル5 災害発生情報 篠ノ井小森付近で千曲川が越水
23:08	警戒レベル4 避難指示（緊急） 千曲川越水の恐れが高くなった [松代町牧島、松代町小島田]
23:18	警戒レベル5 災害発生情報 松代町柴で千曲川が越水
23:40	警戒レベル4 避難指示（緊急） 千曲川氾濫の恐れが高い。すでに越水している地区の方は直ちに命を守る避難行動を [篠ノ井～豊野地区の千曲川沿川]
23:51	警戒レベル5 災害発生情報 松代町城東、松代町城北、松代町西寺尾、松代町東寺尾で浸水被害
10月13日 0:45	警戒レベル4 避難指示（緊急） 浅川内水氾濫の危険性が高い [豊野町豊野、豊野町浅野、赤沼]
1:12	警戒レベル5 災害発生情報 1時8分ころ穂保（長沼地区）で千曲川が越水
1:19	警戒レベル5 災害発生情報 1時頃から浅川排水機場付近で浅川の内水氾濫が始まった
2:12	市長による呼びかけ 警戒レベル5 災害発生 命を守る最善の行動をとってください。午前1時8分頃、長沼地区穂保で越水が始まり、堤防決壊の恐れがあるため、直ちに逃げてください。千曲川の近くにお住まいの方は、直ちに逃げてください。
4:38	警戒レベル5 災害発生情報 穂保（長沼地区）で住宅2階まで水が来たとの情報あり、千曲川堤防の決壊の恐れ
6:20	●緊急消防援助隊（航空部隊）の派遣要請（市長→県知事）
6:23	●長野県消防相互応援隊を長野県へ派遣要請
11:05	警戒レベル4 避難指示（緊急） 浅川内水氾濫による浸水の恐れがある [三才、下駒沢]
11:10	●緊急消防援助隊（地上部隊）の派遣要請（市長→県知事）
10月28日 15:30	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 地すべりの危険性がある [信州新町弘崎（一倉田和）地区]

【救助の状況】

区 分	救助者数〈※1〉
消防局等〈※2〉・消防団	686 (35) 人
警察	218 (40) 人
自衛隊	748 (281) 人
海上保安庁	16 (16) 人
計	1,668 (372) 人

※1 救助者数は、各機関の発表値。カッコ内は、ヘリコプターによる救助者で内数。

※2 消防局、長野県消防相互応援隊（松本広域消防局・飯田広域消防本部・諏訪広域消防本部・上伊那広域消防本部・岳南広域消防本部・千曲坂城消防本部・北アルプス広域消防本部・木曾広域消防本部）、緊急消防援助隊（陸上部隊 新潟県隊：新潟市消防局他14消防本部、航空部隊 東京消防庁他5隊） 活動人員延べ4,650人（令和元年10月12日から16日までの間）

【避難の状況（発災直後の最大時）】

避難所数 （自主避難所を含む）	54箇所
避難者数	6,191人

※令和元年12月20日、全避難所閉鎖

【国・県との連携、国・県からの主な支援等】

	連携・支援等の内容
内閣府	・警察庁による警察災害派遣隊の出動
総務省	・総括支援（災害マネジメントの支援）、対口支援（避難所運営・り災証明書交付業務等の支援）として名古屋市を派遣 ・避難所運営支援（通信関係）ほか ・消防庁による緊急消防援助隊派遣、緊急消防援助隊受援に係る現地リエゾン派遣
財務省	・人員派遣（避難所運営支援等、り災調査事務補助等、り災証明書受付事務補助等）ほか
厚生労働省	・災害派遣福祉チーム（DWAT）の派遣 ・被災者の健康管理のための保健師等の応援派遣（岐阜県、富山県、愛知県、大阪府、和歌山県） ・衛生用品等の支援ほか
農林水産省	・農地の土砂撤去に係る助言・指導ほか
経済産業省	・避難所等におけるプッシュ型支援（ダンボールベッドほか）ほか
国土交通省	・水位情報に係る情報提供（洪水予報ホットライン） ・水防活動に係る情報提供（水防警報） ・気象庁による気象状況等に係る情報提供 ・海上保安庁ヘリによる人命救助活動 ・緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による緊急排水作業（排水ポンプ車・照明車）、被災状況調査、路面清掃作業等 ・浅川樋門、下流処理区終末処理場（クリーンピア千曲）への排水ポンプ車の配備（応急復旧支援）ほか
環境省	・被害状況及び災害廃棄物の発生状況等に係る現地確認 ・ペット連れの被災者の避難状況に係る現地確認 ・災害廃棄物中部ブロック広域連携計画に基づく派遣（石川県、豊田市、豊橋市、金沢市、名古屋市、四日市市、岡崎市、鈴鹿市、南伊勢町） ・災害廃棄物の処理に係る助言ほか
防衛省	・自衛隊災害派遣（人命救助活動、給水支援、給食支援、入浴支援、災害廃棄物の運搬等）ほか
長野県警察	・被災地での避難広報・避難誘導及び幹線道路等での交通規制 ・被災者の救出救助活動、被災地域での安否不明者・避難行動要支援者の確認 ・パトカー等による被災地域の警戒警ら活動 ・避難所を巡回しての被災者の要望把握活動 ・防犯カメラを設置しての犯罪抑止活動 ・避難所の児童生徒に対する防犯ブザーの配布等による防犯対策ほか

	連携・支援等の内容
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急対策用排水ポンプ車の配備（水防活動） ・ 保健師派遣 ・ 災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 ・ 災害派遣精神医療チーム（DPAT）の派遣 ・ アクアパル千曲の広場借用（災害廃棄物の仮置き場） ・ クリーンピア千曲の広場借用（災害土砂の仮置き場） ・ プッシュ型救援物資等の配送拠点の設営及び運営支援 ・ 避難所及び福祉避難所の運営への職員派遣 ・ 信州被災者生活再建支援 ・ ONE NAGANOムーブメント（被災支援と復興を推進する連携体制づくり、ボランティアの結束力・輪の拡大、義援金の募集、戦略的な観光誘客、物産振興） ・ 農業相談窓口への職員派遣 ほか

【保健医療福祉チーム】

活動団体	活動内容
災害派遣医療チーム（DMAT）、日赤救護班、日赤こころのケア、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、県災害医療コーディネーター、特定非営利活動法人AMDA、災害人道医療支援会（HuMA）、特定非営利活動法人TMAT、医師会・病院、歯科医師会、薬剤師会、他府県保健師、県助産師会、ほけんしつ清泉、長野市民病院、全国訪問ボランティアナースの会キャンナス、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）、県PT、OT、ST連絡協議会、県臨床検査技師会、県柔道整復師会、県福祉チーム（他県の災害派遣福祉チーム含む）、動物愛護会、避難生活学会、県健康運動指導士会、賛育会、国立感染症研究所、日本環境衛生センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康相談 ・ こころのケア ・ 糖尿病相談 ・ 予防接種 ・ DVT検診 ・ 口腔ケア ・ おくすり相談 ・ 運動指導 ・ 福祉生活支援 ・ 環境整備

※延べ3,941人（再掲含む）

【中長期的な職員派遣等（令和元年度）】

	市町村名	業務内容
県内	松本市	<ul style="list-style-type: none"> 被災市営住宅建替工事の移転等関係事務 被災市営住宅建替工事の設計、監理等関係業務 応急仮設住宅の維持保全業務 応急仮設住宅の管理運營業務 農道等の災害復旧工事の設計、施工監理及び検査業務 被災者生活再建支援金の申請受付、支給事務等 被服、寝具その他生活必需品の給与・貸与業務 義援金の配分業務、保険料、サービス利用料の減免業務 災害ごみ撤去作業等 土砂混じりがれき処理、制度設計等業務 公費解体、広報、説明会、受付、調査、支払い等業務 農業用機械・施設の再建等への支援業務 ほか
	上田市	
	岡谷市	
	飯田市	
	諏訪市	
	中野市	
	大町市	
	塩尻市	
安曇野市	南箕輪村	
信濃町	小川村	
飯綱町		
県外	富山県	富山市
	石川県	珠洲市
		白山市
	福井県	福井市
	岐阜県	岐阜市
		各務原市
		高山市
	愛知県	名古屋市
		一宮市
		春日井市
	豊田市	

【短期職員派遣等】

協定名	市町村名等 ※カッコ内は延べ人数	
災害時相互応援協定 (6市・2町・6村) 1,052人	県内	松本市 (401)、安曇野市 (111)、伊那市 (2)、塩尻市 (110)、諏訪市 (8)、麻績村 (10)、生坂村 (5)、山形村 (17)、朝日村 (14)、筑北村 (10)、小川村 (88)、辰野町 (4)、南木曾町 (6)
	県外	東京都 町田市 (266)
中核市 災害相互応援協定 (29市) 2,229人	富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 愛知県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 宮崎県 鹿児島県	富山市 (145) 金沢市 (114) 福井市 (131) 甲府市 (141) 岐阜市 (135) 豊橋市 (139)、岡崎市 (141)、豊田市 (155) 大津市 (66) 高槻市 (77)、豊中市 (24)、寝屋川市 (60)、東大阪市 (60)、枚方市 (66)、八尾市 (28) 尼崎市 (74)、明石市 (43)、姫路市 (67)、西宮市 (74) 奈良市 (65) 和歌山市 (60) 鳥取市 (32) 松江市 (24) 倉敷市 (98) 呉市 (32)、福山市 (32) 下関市 (26) 宮崎市 (66) 鹿児島市 (54)
被災市区町村応援職員 確保システム、広域・ 大規模災害時における 指定都市市長会行動計画 373人		名古屋市 (373)
大規模災害時廃棄物対策中 部ブロック協議会 (1県・18市・1町・1村) 2,065人	県内	伊那市 (50)、駒ヶ根市 (70)、宮田村 (16)
	県外	石川県 (46) 石川県 金沢市 (96) 岐阜県 岐阜市 (162) 愛知県 名古屋市 (615)、豊橋市 (30)、岡崎市 (38)、一宮市 (16)、瀬戸市 (26)、春日井市 (36)、豊川市 (16)、豊田市 (58)、田原市 (12) 三重県 四日市市 (104)、鈴鹿市 (56)、南伊勢町 (42) 大阪府 大阪市 (566) 岡山県 倉敷市 (3) 熊本県 熊本市 (7)

協定名	市町村名等 ※カッコ内は延べ人数	
県からの要請により、国（厚生労働省）調整による 保健師応援派遣チーム （6チーム） 717人	愛知県チーム（136） 岐阜県チーム（96） 富山県チーム（108） 長野県チーム（194） 和歌山県チーム（97） 大阪府チーム（86）	
その他 （2国、2県・6市・ 1町・1関係機関） 282人	国	関東財務局（78） 長野税務署（28）
	県内	長野県（13）、大町市（6）、岡谷市（6）、諏訪市（8）
	県外	宮城県 塩竈市（57） 奈良県 奈良市（8） 熊本県（20） 熊本県 熊本市（14）、御船町（28）
	その他	独立行政法人都市再生機構（16）

※延べ6,718人

【ボランティア】

	延べ人数	活動内容
ボランティア （令和元年10月16日～ 令和2年3月21日）	64,705人	被災世帯内の被災家財、土砂・泥等の搬出、家屋の清掃、被災廃棄物の運搬、災害ボランティアセンター・サテライトの運営支援 など
農業ボランティア （令和元年11月14日～ 令和2年2月16日）	6,773人	りんご畑、田に流れ着いた災害漂着物の撤去、果樹の周りの泥土の撤去 など

【仮設住宅等】

賃貸型応急仮設住宅の入居状況

(令和2年3月23日時点)

賃貸型応急住宅	566件
---------	------

市営住宅等の一時提供

(令和2年3月23日時点)

市営住宅	30戸
従前居住者用住宅	45戸
職員住宅	10戸
国家公務員宿舎	38戸
計	123戸

建設型応急仮設住宅の確保

(令和2年3月23日時点)

	構造	提供数	入居数
上松東団地	木造	32戸	23戸
若槻団地運動広場	木造	23戸	18戸
昭和の森公園	プレハブ	45戸	29戸
駒沢新町第2団地	トレーラーハウス	15戸	13戸
計		115戸	83戸

※入居開始日：令和元年12月1日



【災害義援金等】

長野市災害義援金 (令和2年3月23日時点)	2億7,873万6,233円
長野市一次配分額	1億7,020万8,000円
長野県一次配分額	4億5,388万8,000円
配分総額	6億2,409万6,000円
配分件数	2,636件

【ふるさと納税（災害復興支援寄附分）】

(令和2年3月23日時点)

寄附額	1億6,694万7,180円
件数	7,636件